

News Release

「芝草管理技術者資格」公認のお知らせ

財団法人日本ゴルフ協会(以下「JGA」と呼称)は特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構(以下「芝草研究開発機構」と呼称)による芝草管理技術者資格を日本ゴルフ協会公認資格とすることを決定いたしました。

1) 公認に至った背景

芝草研究開発機構の芝草管理技術者は平成2年の認定制度発足以後、延べ7,447名の認定者を輩出し、その間の芝生管理は著しい効果をもたらしており、ゴルフ場のみならず、公園を始め、芝生緑地においても芝生管理者として重要な役割を担い、全国で活躍しております。

特に芝草管理技術者制度の発足当時に問題となっていたゴルフ場での農薬による排水汚染などの環境問題は、芝草研究開発機構の各級資格取得のための研修を通じて、芝草管理技術者の意識改革と技術向上等により飛躍的に改善しました。近年では環境保全の牽引役としての社会的評価も高くなり、ゴルフ場のイメージ向上に芝草管理技術者は多大な寄与をしています。

また、芝草研究開発機構はこの芝草管理技術者の育成について常に最新の情報と高品質な管理知識を資格者に習得させることを念頭に、カリキュラムおよび試験等において高い権威を求めべく、制度運営を行なってきました。

2) 公認の趣旨

本公認により、ゴルフ場としての重要なサービス品質の要素である芝草の品質向上、コース管理の技術向上によるゴルフ競技の戦略性の向上など、ゴルフのスポーツとしての魅力向上に貢献することが期待されます。

同時に都市や都市近郊においては良好な都市環境の提供の場となり、地方においては国土保全の要となるゴルフ場の地位と認識を高めることにも寄与することが期待されます。

また、このほかにも天然芝のスポーツ施設、競技場を適正に維持管理していくための専門技術者の育成、管理技術の向上と品種の改良・開発などの一層の啓発を図るとともに、芝草管理技術者の意欲と士気の向上に寄与し、もって芝草に係る国民スポーツの普及振興を図ると共に、近年急速に期待感が高まっている「校庭芝生化」への協力体制も構築し、児童・生徒に芝生に親しみ憩う場を提供し、環境保全にも寄与していくことを期待するものがあります。

3) 公認の方法

JGAは平成20年2月実施予定の第9回3級資格認定事業、第5回1級資格認定事業

に対し、JGAの公認であることを示す標章および記載を掲示いたします。認定試験合格者に交付する認定証等にも同様にJGA公認の記載を掲示します。

また、公認に際しては研修、試験および合格判定会議にJGAも関与するものとします。

芝草研究開発機構が既に認定している芝草管理技術者の各級資格者全員(*)が平成19年8月1日をもってJGAの公認資格となります。

(*) 資格者数 H19.4.30 現在

1級 66名 2級 1,216名 3級 2,164名

以上について、ホームページおよび広報誌などで広く周知徹底に努めます。



財団法人日本ゴルフ協会(JGA)

安西孝之会長のコメント

この度の特定非営利活動法人「日本芝草研究開発機構」の「芝草管理技術者資格認定制度」に対し、(財)日本ゴルフ協会として「公認」することになりました。

これは同機構古賀理事長との協議の結果、ゴルフ界の将来のため、ゴルフ場のメンテナンスがいかに重要であるかとの考えに立ったものであります。

申し上げるまでもなく、ゴルフのプレーはゴルフ場がなければ成り立ちません。そして、常に快適なコンディションが求められます。

そのための管理技術が近年飛躍的に進歩しているのも、NPO日本芝草研究開発機構の資格制度による研修と教育によることは既に広く認識されております。

「(財)日本ゴルフ協会公認」を契機に資格取得者が一層の研鑽を積み、ゴルフ界の発展に寄与されることを祈念してやみません。

特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構(TOJ)

古賀始理事長のコメント

このたび、当日本芝草研究開発機構の芝生管理技術者資格が(財)日本ゴルフ協会の公認をいただくことになったことは誠に光栄であり、また資格者各位にとっても大変な栄誉であり、ここに感謝申し上げます。

当機構は平成4年に発足し、平成14年に特定非営利活動法人の認証を受けて、この間延べ7447名の芝草管理技術者が生まれ、全国の各所で活躍しております。今回の公認はこの管理技術者諸君の活躍が認められたからに他なりません。また、資格研修会において最先端の芝草管理技術を教育していただいている、講師各位や関係機関各位の多大なご協力があったことで、謹んで感謝申し上げます次第です。

当機構といたしましては、引き続き芝草管理技術の向上と研鑽に努め、ゴルフ界のみなら

2007/07/31

ず、広く社会貢献を目指して活動を強力に進めていく所存であり、今回の公認を契機として、資格保有者のための事業を更に充実させるべく努力いたします。

関係各位には、今後共一層の御支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



財団法人日本ゴルフ協会（JGA）

会長 安西 孝之

（東京都中央区京橋 1-12-5 京橋 YS ビル 2 階、 03-3566-0003）

1924 年(大正 13 年) に創設。1987 年(昭和 62 年)に文部省(現・文部科学省)より財団法人の認可を受ける。日本のアマチュアゴルフ界を統括するとともに、世界共通のゴルフ規則の日本語版の制作を通じたルールとエチケット、マナーの普及活動、JGA ハンディキャップ規定の制定、男女のナショナルオープン選手権、ナショナルアマチュア選手権など公式競技の開催、ジュニア育成等を行う。また、世界ゴルフ連盟、アジア太平洋ゴルフ連盟の加盟団体として、国際競技への選手団派遣をはじめとする各種国際交流も行っている。

現在は日本体育協会、日本オリンピック委員会の加盟団体として、国体ゴルフ競技やスポーツマスターズの実施やアジア大会、ユニバーシアードに参加している。

特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構（TOJ）

理事長 古賀 始

日本の芝草研究の推進、専門職であるゴルフ場や競技場の芝草管理技術者の人材育成と管理技術の向上等を図ることを目的に 1992 年(平成 4 年)に設立され、2002 年(平成 14 年)に内閣総理大臣より特定非営利活動法人(NPO 法人)として認証される。芝草管理に関するセミナー、講習会を開催。これまでに芝草管理技術者資格認定制度による 7,400 人を超える認定資格者が全国のゴルフ場、スポーツ施設、公園緑地など多方面で活躍している。

以上のお問い合わせ先

特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構（TOJ）

事務局長 神田 功（かんだ いさお）

東京都港区新橋 6-7-1 川口ビル 4 階 〒105-0004

TEL : 03-3431-4570 FAX : 03-3431-4640

i-kanda@shibakusa-rd.or.jp